



主催：NPO法人築地居留地研究会 後援：東京都中央区

2023年7月度定例研究報告会

テーマ：『詩人山村暮鳥と築地居留地』

山村 暮鳥は、明治・大正期の日本の詩人、児童文学者である。本名、土田八九十、旧姓は志村。自由詩社に入り詩壇に登場。情調的な象徴詩から前衛詩に転じ、晩年は平易な表現の人道主義的作風になった。(Wikipedia)

今回は、詩人 山村暮鳥と築地居留地に関連するお話を分かりやすく、楽しめる構成で、中村不二夫先生に講演していただきます。



山村 暮鳥



講師 中村 不二夫 先生

中村不二夫 先生

1950年横浜市生まれ。神奈川大学卒業。詩集に『Mets』(日本詩人クラブ新人賞)『コラル』(「地球賞」)など。評論集に『山村暮鳥論』『辻井喬論』『廃墟の詩学』(秋谷豊詩鳩賞)など。現在月刊詩誌「詩と思想」編集委員。一般社団法人日本時人クラブ会長を経て、現在顧問。日本文藝家協会、暮鳥会、中島敦の会各会員。日本聖公会三光教会信徒。

日 時：2023年7月22日(土) 14:00～16:00

場 所：カトリック築地教会 2階

講演聴講：無料 一般公開 予約不要 どなたでも聴講できます。

お問い合わせ先：03-3551-7595

カトリック築地教会へのアクセス

中央区明石町5-26



地下鉄にてご来場の場合

- ・ 新富町（地下鉄有楽町線）駅6番出口から徒歩5分
- ・ 築地（地下鉄日比谷線）駅3番出口から徒歩6分